

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年社会環境浄化事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	10	02	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	恩田 一成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住・在学20歳未満の青少年及び保護者、地域住民	意図	青少年を取り巻く有害な社会環境の浄化を行い、青少年の健全育成を図る。
事業内容	青少年の健全育成に関する啓発講演、青少年の市内店舗利用状況を把握するための聞き取り調査、納涼祭等における見守りパトロールなどの実施。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和55年度から流山市青少年社会環境浄化推進委員会及び同実行委員会を設置。昭和58年度に流山市青少年社会浄化推進月間（2月）を定め（平成24年度から12月に変更）、「つどい」を実施している。平成2年度から「つどい」に向けて、各機関・団体の代表者で組織される地区会議を開催。平成19年度に「全体のつどい」を実施後、平成28年度まで「地区のつどい」を実施。平成29年度は「全体のつどい」を実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	集会活動への参加者数	735	621	583	人	→→
②	店舗利用状況調査	401	458	371	人	→→	PTA219、各種団体144人、教職員8人
③	協力店舗数	160	179	183	店舗	→→	実行活動の協力店舗数
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト							前年度と同様、流山市文化会館で「全体のつどい」を開催したことで、青少年や地域住民の参加も多く見られ、青少年への社会環境浄化推進事業への意識の高まりが期待できた。
事務事業の総コスト(a=b+c)	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事業費(b)(円)	6,681,101	6,157,127	6,090,682				
うち一般財源	101,501	97,527	153,482				
職員給与費(c)(円)	101,501	97,527	153,482				
人役・職員(人)	6,579,600	6,059,600	5,937,200				
人役・職員(人)	0.80	0.80	0.80				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	0.40	0.40	0.40				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	社会環境浄化実行委員会の会議の内容やあり方について再検討し、会議内での情報交換・共有を充実させ開催回数を減らし、参加者の負担軽減を図る	③取組の課題	青少年を取り巻く社会環境は年々複雑化しているが、本事業の推進と趣旨の啓発・広報活動の推進を更に高める。また、会議の合理化と負担の軽減を図る
②今年度(H29)に実施した取組	平成27年度より「全体のつどい」を流山市文化会館で実施し、充実を図っている。また、夏の納涼祭でのパトロール活動は市内47か所で実施している。	④今後(H30以降)の改善計画	実行活動は地域密着型の活動として、「まとめの会」をより充実させ、調査結果を各地域に広く広報し啓発に努め強化を図る。